

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームふれあい

作成日 : 平成 23 年 1 月 6 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	15	食事中の利用者間の会話が少なく、楽しい雰囲気を作る配慮が必要。	利用者間の会話が増え、楽しい雰囲気です食事ができる。	食事中は、職員が1テーブル1名は同席するようにし、利用者間の会話の橋渡しを行い、楽しく食事が摂取できるように配慮する。 12ヶ月
2	52	共用空間のデイルームやプライベート空間である個室以外で過ごしていただいている時間が少ない。また、環境設定も改善する必要がある。	個人・少人数・集団等、多様な過ごし方ができる居場所を作成し、それぞれの思い、ペースで過ごせる。	セミパブリック空間の作成と、現在の環境の見直しを行う。 12ヶ月
3	4	運営推進会議の参加者が少ない。	ボランティア等、多種多様な人が運営推進会議に参加して頂き、多様な意見をサービス向上に活用する。	ボランティア、消防署員等へ運営推進会議の参加を促す。 12ヶ月
4	2	地域住民との交流が少ない。	地域住民との交流ができる。	地域の活動への参加、事業所活動への地域住民の参加を促し、地域住民との交流をより図ることができる。 12ヶ月
5	26	月に1度のケースカンファレンスや担当制でのモニタリングを行っているが、モニタリングの質を上げる必要がある。	モニタリングの質の向上を図り、本人がより良く暮らせる様に支援する。	アセスメント、モニタリングの勉強会を行い、より良いサービス提供ができる。 12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。